

ごうつ

# 市議会だより

はっとり まなみ  
題字：服部 真南さん(桜江小学校 6年)



一般質問を傍聴する高角小学校6年生の児童たち(後方)

2011.2  
No.105

## 12月定例市議会報告

議会の動き .....	2
補正予算審議 .....	3
行政に問う(一般質問) .....	8
研究フォーラム報告 .....	13

市議会だより：平成23年2月1日 / 編集：市議会だより編集委員会 / 発行：江津市議会事務局  
☎(0855)52-2501 / ホームページアドレス <http://www.city.gotsu.lg.jp/37.html>(江津市HP内)

平成22年  
12月(第8回)定例会日程

17日	本会議 (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (委員長報告・質疑・討論・採決)
13日	委員会(予算委員会)
10日	委員会(建設厚生委員会)
9日	委員会(総務文教委員会)
8日	本会議(一般質問)
7日	本会議(請願・陳情・質疑・委員会付託) (一般質問)
2日	本会議(議案上程・提案説明・質疑・委員会付託)

12月

# 12月議会定例会

平成22年第8回議会定例会が、12月2日から17日までの16日間の日程で開かれ、平成22年度補正予算を始め、市長提出議案16件が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、一般質問では10名の議員が市政全般にわたって、市長の考えをたどりました。



建設厚生委員会において桜江ライスセンターを現地調査

## 第7回臨時議会

(開催日 11月29日)

市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

内容

期末手当の支給月数を改正するもの

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

内容

期末手当の支給月数並びに給料表を改正するもの

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について

内容

給料表の切替えに伴う経過措置の改正を行うもの

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

内容

減額措置対象職員が育児短時間勤務等をした場合の給与の取扱いを規定するもの

江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について

内容

期末手当の支給月数を改正するもの

財産の取得について

内容

江津市学校給食センター厨房機器備品類を購入するもの

結果

いずれも原案可決

## 第9回臨時議会

(開催日 12月27日)

専決処分報告について

平成22年度島根県江津市一般会計補正予算(第6号)を定めることについて

外1件

内容

国の補正予算の「円高・デフレ対応のための緊急経済対策」と歩調を合わせ、公共投資を中心に経済対策を行うもの。

結果

いずれも原案可決

一般会計  
補正予算  
(第5号)

# 2億4,961万1千円増

緊急を要し年度内に施行しなければならない  
経費及び過疎計画に取り上げる事業等

事業予算総額158億2,865万8千円

(参考)昨年度同月予算総額は174億6,924万円

特別会計補正予算

# 1,703万9千円増

<平成22年度12月補正予算の主要事業>

事業名	予算額	事業の概要
強い農業づくり 交付金事業	4,934万円	ハープ米等環境保全型の売れる米づくり推進と、品質向上により農家の所得向上を図るため、桜江ライスセンターに米の色彩選別機を導入するもの。
都市公園管理費	650万円	都市公園施設の健全度を把握し、点検・維持管理体制を構築した上での改築計画等の取りまとめを策定するため、現況調査を行なうもの。
予防接種事業 (インフルエンザ ワクチン 接種事業)	613万円	季節性インフルエンザ及び新型インフルエンザによる死亡者や重症者の発生を減らすため、高齢者及び低所得者に対し、ワクチン接種費用の全部又は一部を助成するもの。
予防接種事業 (日本脳炎 ワクチン接種 事業等)	565万円	日本脳炎予防接種については、国の勧告により積極的勧奨を差し控えていたが、本年、新ワクチンによる接種が可能になったため、この対象となる児童に接種を行なうもの。
子どもたちの 未来を拓く ロボット教室事業	316万円	子どもたちに科学教育環境を提供し、理科離れを防ぐとともに、本市の産業活性化に寄与できる人材を育成するために、ロボット教室を開催するもの。
耕作放棄地 再生利用緊急 対策事業	160万円	井沢地区の耕作放棄地(元葉タバコ圃場)2.9haを利用可能な農地に再生する事業者に対し助成を行うもの。

# 可決

原案

賛成

全員

(一般会計補正予算)

予算審議結果  
原案可決【賛成全員】

- 一般会計補正予算
- 特別会計補正予算
- (国民健康保険事業、国民健康保険診療所事業、公共下水道事業、簡易下水道事業、農業集落排水事業)
- 水道事業会計補正予算

その他審議された市長  
提出議案

条例議案(6件)

一般議案(2件)

については、いずれも  
原案のとおり可決され  
ました。

各議員の賛否は6ページに  
記載しています。

その他議決された議案  
人権擁護委員候補者  
の推薦について

任期満了となった人  
権擁護委員について高  
橋慶子氏及び山藤晴子  
氏を引き続き推薦する  
もの。





# 常任委員会 審議内容

## 総務文教委員会

〔内容〕  
 (有)いわみファームによる糸谷川汚水流出への対応を求める意見書の提出について(請願)

〔内容〕  
 県へ汚染原因の徹底究明と汚泥浚渫、事業者に覚書きを遵守させるように指導を求める意見書を、県に提出してほしい。

〔討論〕

【反対討論】  
 なし

【賛成討論】

これまで関係機関から再三の要請、指導等があっても事態は改善されていない。本市としても毅然とした強い姿勢で臨み、意見書を提出すべきである。

〔結果〕

異議なく、採択すべきものと決した。

防犯灯の電気料金への補助の継続について

〔内容〕

防犯灯に係る電気料金について、今年度は市からの自治会への補助は2分の1だが、来年度からの補助は4分の1となるよう決定されていることについて、来年度から今年度と同様に2分の1補助の継続を求めるものである。

【委員質問】

山間部など戸数の少ないところは、負担が大き。LEDの設置をすべきでは。

平成23年度より山間部からの設置を考えている。

〔討論〕

【反対討論】

これまで自治会からの要望を受け、移行期間を3年から5年に延長し、各地区において説明会を開催し、自治会の合意を得て、議会も了承してきた経緯があるため継続すべきではない。

【賛成討論】

激変緩和のため、期間を3年から5年に延長した努力は認めるが、いまだ景気は回復しておらず、市民目線から考えても現状の負担割合を、せめてもう1年でも延長すべきである。

〔結果〕

賛成少数により、不採択すべきものと決した。

江津市税条例の一部を改正する条例制定について

〔内容〕

平成23年度から固定資産税の前納報奨金を廃止するもの。

〔結果〕

異議なく、原案のとおり可決すべきものと決した。

この外にも、陳情1件、条例議案2件が同様に審議されました。



## 建設厚生委員会

〔内容〕  
 島根県石見地方バス路線確保に関する国・県による支援を求める意見書の提出について

〔内容〕

「バス交通維持・確保対策予算」を普通交付税として設けるようはたらきかける等、4項目について意見書の国・県への提出を求めるもの。

〔討論〕

【反対討論】  
 なし

【賛成討論】

交通弱者を救うための取組みであり賛成である。

〔結果〕

異議なく、採択すべきものと決した。

医療費の窓口負担軽減の意見書の提出について

〔内容〕  
 見書を国等に提出を求めるもの。

【委員質問】

本市での医療中断の実態は、

窓口での対応では、医療費が高くて病院に行けないとの声は聞いていない。

〔討論〕

【反対討論】

医療費の軽減は財源問題に係り、保険料の増につながることも考えられる。また、本市では受診抑制は認められず、適正な状況である。

【賛成討論】

早期治療を行うことにより、医療費を抑制できるので提出すべきである。

〔結果〕

賛成少数により、不採択すべきものと決した。

この外にも、陳情2件、条例議案3件、一般議案2件が審議されました。

(有)いわみファームによる糸谷川汚水流出への対応を求める意見書の提出について(請願)

= 内容 =

県へ汚染原因の徹底究明と汚泥<sup>しゅんせつ</sup>浚渫、事業者に覚書きを遵守させるように指導を求める意見書を、県に提出してほしい。

採 択 ( 全員賛成 )

医療費の窓口負担軽減の意見書の提出について(陳情)

= 内容 =

社会情勢の急変による窓口負担が重くなり治療中断、受診抑制により必要な医療を受けられない人がいる。このため、全世代にわたる医療費の窓口負担軽減の意見書を国並びに関係機関に提出してほしい。

< 賛成意見 >

多田 国に憲法第25条を遵守させて負担軽減を求め、市民が医療を受ける当たり前の権利を守るべきであるため賛成。

< 反対意見 >

森脇 全世代にわたる医療費の窓口負担軽減に相当する医療費は、国・県の負担割合の引き上げがされない限り、保険料率を上げることが考えられ、結局は被保険者の保険料を上げることにつながる。また、財源など慎重に検討した後でなければ、全世帯にわたる医療費の窓口負担の軽減は困難と考えるので反対。

不採択 ( 賛成者少数 )

住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める意見書の提出について(陳情)

= 内容 =

現在進められようとしている「地域主権改革」により、行政サービスの低下を招くことのないように、また国の出先機関に当たっては廃止・移管を前提としないよう、必要な人員の確保の意見書を国に提出してほしい。

不採択 ( 賛成者少数 )

# 請願と陳情

島根県石見地方バス路線確保に関する国・県による支援を求める意見書の提出について(請願)

= 内容 =

地方バス路線の確保のため、4条バス(主要路線バス)・生活バス(主要路線と山間地を結ぶ補助的バス)に関するバス交通維持・確保対策予算を現在の特別交付税から、普通交付税に変更する意見書を、国及び島根県に提出してほしい。

採 択 ( 全員賛成 )

防犯灯の電気料金への補助の継続について(陳情)

= 内容 =

22年度2分の1の補助割合が23年度より4分の1に削減される。各自治会で負担となるため、23年度からも22年度と同様に2分の1の補助を続けてほしい。

< 賛成意見 >

多田 自治会負担の根拠である「自治会の理解」は陳情が提出されて覆<sup>くつがえ</sup>った。連合自治会長協議会からの声に応え、補助継続に賛成。

< 反対意見 >

山根 平成19年に市内23か所を回り自治会長から理解を得た。また、電気代に対する市単独で補助を行っているのは大田市と本市のみであり、当初3年の予定であった電気代補助を自治会からの強い要望で5年に延長した。さらに防犯灯の玉換え、故障修繕の経費を全て市が負担しているのは県内8市の中でも本市だけであり、十分な配慮がなされているので継続に反対。

不採択 ( 賛成者少数 )

議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果		多田 伸治	横田 省吾	藤間 義明	山根 兼三郎	森脇 悦朗	島田 修二	茅島 昇	石橋 孝義	盆子 原民生	河野 正行	藤田 厚	田中 直文	山本 誉	永岡 静馬	福原 昭平	土井 正人	
		議決日	結果																	
議案第90号	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	11月29日	可決																	
議案第91号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第92号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第93号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第94号	江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第95号	財産の取得について	"	"																	
議案第96号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月17日	"																	
議案第97号	江津市税条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第101号	江津市立小学校等設置条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第98号	江津市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第99号	江津市定住促進集落活性化住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第100号	江津市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	"	"																	
議案第102号	市道の路線の廃止について	"	"																	
議案第103号	市道の路線の認定について	"	"																	
議案第104号	平成22年度島根県江津市一般会計補正予算(第5号)を定めることについて	"	"																	
議案第105号	平成22年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	"	"																	
議案第106号	平成22年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	"	"																	
議案第107号	平成22年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	"	"																	
議案第108号	平成22年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	"	"																	
議案第109号	平成22年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	"	"																	
議案第110号	平成22年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第3号)を定めることについて	"	"																	
議案第111号	人権擁護委員候補者の推薦について	"	"																	
議案第112号	平成22年度島根県江津市一般会計補正予算(第6号)を定めることについて	12月27日	"																	
議案第113号	平成22年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	"	"																	
請願第1号	島根県石見地方バス路線確保に関する国・県による支援を求める意見書の提出について	12月17日	採択																	
請願第2号	(有)いわみファームによる糸谷川汚水流出への対応を求める意見書の提出について	"	"																	
陳情第10号	防犯灯の電気料金への補助の継続について	"	不採択																	
陳情第11号	医療費の窓口負担軽減の意見書の提出について	"	"																	
陳情第12号	住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める意見書の提出について	"	"																	

議

長

賛成

反対



## 12月議会定例会において3つの意見書を国及び県に提出しました

### 都治川治水ダム建設事業（波積ダム）建設促進に関する意見書（抜粋）

= 内容 =

一級河川都治川は、古くから毎年のように流域に大きな災害をもたらし、その都度地域住民は生命の危機に直面するとともに、土地や家屋等の貴重な財産を失ってきた。あわせて、河川や道路、橋梁といった公共土木施設も多大な被害を受け、特に昭和46年、47年の梅雨前線豪雨による被害は甚大であった。

波積ダムの建設事業については、工事着手に向け地域関係者と議論を重ねるなか、幾多の困難を乗り越え、平成10年5月には水没者をはじめとする各地元協議会との間で基本協定が、また、平成16年2月には損失補償基準協定が締結され、現在、ダム建設予定地周辺では付替道路工事が進められている。

地域住民は、毎年のように豪雨の度に避難を繰り返している状況であり、近年各地でゲリラ的豪雨が頻発する状況のなか、市民が安全で安心して生活できる治水対策を早期に実現するためには波積ダムの建設が最善であり、現在進められているダム建設事業が計画どおり推進されるよう島根県に強く要望するものである。

### 地方バス路線の維持・確保を求める意見書（抜粋）

= 内容 =

地方バス路線の確保については、地方自治体にとっても、また県の政策としても極めて重要な課題である。

特に、各沿線自治体ではバス路線維持のため、バス事業者に対し欠損補助の支援を行うと同時に、バス路線空白地域のいわゆる交通弱者輸送に自治体独自の交通手段も実施している。

そうした中で、地域交通事業者の不採算を理由とする撤退表明は、生徒や高齢者などマイカーを利用できない方を中心とする地域住民の移動機会を奪い、さらなる過疎化に加え、地域コミュニティの崩壊など深刻な事態に陥ることも想定される。

よって、次の事項について要望する。1．4条バス・生活バスの確保に関し、地方自治体単独補助拡充のため、特別交付税ではなく、普通交付税として「バス交通維持・確保対策予算」を設けられたい。2．既存事業者が、赤字路線から撤退する場合は、沿線の関係住民、自治体との十分な協議・合意を経て行うよう、積極的な指導を図っていただきたい。3．国の地域公共交通を維持する施策として、民間事業者の経営努力を考慮した支援制度を構築されたい。

### 有限会社いわみファームによる系谷川汚水流出への対応と覚書の遵守を求める意見書（抜粋）

= 内容 =

有限会社いわみファーム日貫農場の操業については、平成14年6月10日付けで、有限会社いわみファーム、江尾自治会、石見町、桜江町、島根県川本農林振興センターの5者において操業に伴う覚書が締結された。

しかし、その後幾度となく汚水流出事故を起し、島根県による再三にわたる指導にも関わらず、一向に改善がみられない。また、今年8月には一方的に現在の覚書は無効との通告文が関係機関に送付され、有限会社いわみファームが2月に提出した減頭計画に対する立入り調査の拒否、及びその後の経過報告もせず現在に至っている。

このことから、1．徹底的な汚染原因の究明と系谷川の汚泥浚渫を行うこと。2．平成14年の覚書は、養豚場の事業者、地元自治会、島根県、石見町、桜江町が納得の上で合意したものであり、これに反する行為があったことはすでに事業者も認めているが、事業者は覚書自体の無効を主張している。島根県には上記を踏まえて、事業者に覚書を遵守させること及び覚書に沿った損害補償をさせること。

# 市民の声を行政に問う

原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

## 図書館構想は

教育長 / 管理運営は直営で

### 教育施設



茅島 昇

問 図書館建設基本構想策定委員会の設置後、6回の委員会を開催し、22年6月、基本構想が策定された。今後の図書館の構想は、今後の図書館は、

文学・新刊雑誌・絵本などを読み、借りるだけでなく、仕事や生活・家族・地域への情報提供や課題解決に役立つものであること。本市が目指すことは日々の暮らしや人生の応援、理念実現のためのもの。管理運営は直営であるべきと考える。

問 建設計画は、22年度から基本計画を策定し、26、27年に建築する計画だが、建設後の維持、管理運営など継続的財源に不安があるが考えは。今後、計画変更の可能性もあり、指摘の点は大変心配であるが、図書館建設後の管理運営は、図書・資料の充実が第一優先課題として、施設の維持管理コストが安価となるよう検討する。



江津市図書館

## がん対策

### PET-CTに 助成を

市長 / 慎重に検討する



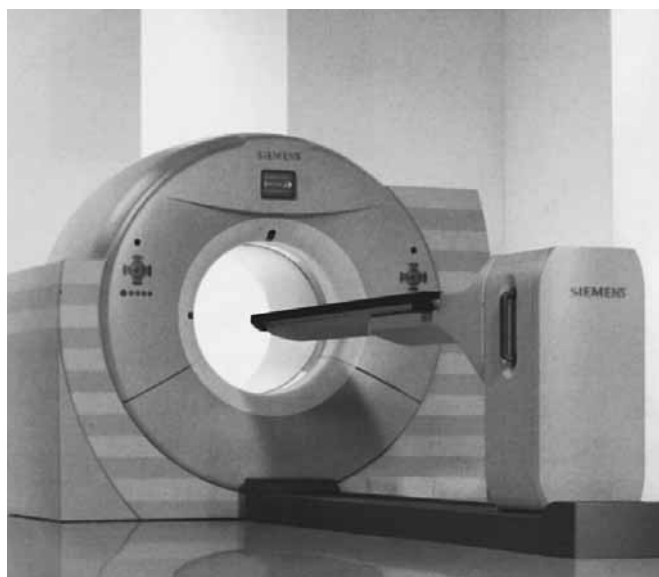
島田 修二

問 全国的にがんは死亡原因の第1位で、今年国民病とも言われ、対策が急がれる。がん対策の充実とPET-CT

問 全国的にがんは死亡原因の第1位で、今年国民病とも言われ、対策が急がれる。がん対策の充実とPET-CT

CT 検診への助成を。本市においても、

死亡原因の第1位は、がんであり、この改善のために壮年期からの健康づくりを掲げ、生活習慣病予防や健康意識の向上を図るための啓発活動等を通して、がん検診の受診率向上に努めている。PET-CT 検診への助成は今後慎重に検討する。問 22年4月20日オープンした農林水産物直



PET-CT装置

### PET-CT検査とは…

細胞の働きから、がんを見つけ出す新しい検査法で、がんの早期発見につながり、県西部では、浜田医療センターで受診できます。

標を上回る状況となっている。今後は販売品目の充実やPR活動を強化し、顧客の拡大に努める。手数料は生産者の方々に価格設定システムを理解してもらえよう工夫したい。



### 妊婦検診

## 抗体検査実施を

市長／検査費用を助成



盆子原 民生

問 白血病ウイルス感染が問題になっている。感染の要因は母乳にあり、この感染防止のため妊婦検診項目に血液の抗体検査を加える考えは、全国で感染者が100万人を超えている。死亡率も高く、乳児の母乳感染が最大の要因で、妊婦検診時の

血液抗体検査により判別できる。この血液抗体検査項目を妊婦健診公費助成の対象に加えるべく12月補正予算に計上した。

問 妊婦検診項目に加える場合の助成額は、また、白血病ウイルスについての認知度向上

のため広報活動をする。この検査は14回の妊婦健診中に1回受ければ良く、費用は2290円を助成する。また、広報活動は、妊婦を中心に個人通知や母子健康手帳の交付時に窓口での周知を行い、医療機関と連携をとり積極的にを行う。広報誌などを通じて広く予防を呼びかける。



## ATL どんな病気?

HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) から赤ちゃんを守りましょう。



### HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) の検査について

- ATL (成人T細胞白血病) は、HTLV-I (human T-cell leukemia virus type I) というウイルスによっておこる病気です。
- お母さんがこのウイルスを持っていると、授乳等によって赤ちゃんに感染する可能性があります。
- 妊婦さんがウイルスを持っているかどうか調べるためには、血液検査をする必要があります。
- このウイルスは、エイズとまったく関係がありません。
- 詳しいことは産科もしくは小児科の主治医の先生におたずねください。



〔平成21年度において、厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)を受け、実施した研究の成果〕

厚生労働省ホームページより引用

## 基本的な考え方は

市長／選択と集中で

### 予算編成



山本 誉

問 新年度予算編成の基本的な考え方は、

交付税の算定基準となる人口減少により、大幅な収入減が予測される。しかし、若者定住、子育て支援、高齢化に伴う社会福祉施策、医療体制整備、人材育成のための教育の推進等へ積極的に取り組む。21年度決算での指摘事

項を選択と集中の観点で予算編成を行う。問 厳しい財政事情にあっても、水道の未普及地域解消などは前倒しで対処すべきでは。市民生活に重要な事業と位置づけ、着実に進めている。これまでどおり優先して重点的に実施していく。

問 自治機能再生事業の取組みの格差が大きい。地域任せでなく全市的な取組みを。自治機能再生に向け、アドバイザーを3地区に派遣し、調査や勉強会が行われている。未実施地区へは理解していただくよう取組み。2月に地域コミュニケーション活動のシンポジウムを開催する。



地域活性化を目指す川登りの市

問 雇用について、今年度の雇用状況は、

本市の新卒の内定率は88・6%と浜田管内平均の79%より高い。一般の雇用状況は、7

問 TPPへの加盟についての考え方は、

あらゆる事を考えて、慎重に検討し結論を急ぐべきでない。中山間地が多く、農業を行う上で条件の悪い本市への影響ははかりしれない。安い外国農産物が無税で入ってくれば、小規模農家の脱落により、耕作放棄地が増大し重大な影響がある。



横田 省吾

T P P

基本的な考え方は

市長／慎重に行うべき



影響の大きい水稲

月の電子部品工場の閉鎖等大変厳しい状況だが、既存企業において設備投資と新規雇用の拡大がある。また、農林水産物直売所や介護施設の開設等で新たな



TPPとは…

「環太平洋戦略的経済連携協定」の略。太平洋周辺の広い地域の国々が参加して、自由貿易圏を作ろうという構想です。

雇用の場が創出されている。

問 ハローワーク巡回相談の開設要請を。要望が多くなれば検討したい。

問 有福温泉の火災を受け、住宅密集地での消防水利施設について、十分対応できるか検討を。

住宅密集地の火災において、類焼を最小限にとどめるには、消火活動に必要な水の確保は重要であり、初期消火活動ができる場所に水利が必要なことは



森 脇悦朗

消防施設

整備の考えは

市長／総合的に実施



ポンプ連結放水訓練を行う跡市分団員

認識している。

問 市内における、今後の消防水利施設整備の考えは。

消防署、消防団と協議しながら、水利の不足している場所を選定し、国の補助金や過疎債など有利な財源を活用しながら、優先順位をつけて計画的に整備する。

問 有福温泉における被災箇所を含めた、再生支援、振興策の考えは。

被災された方の意志を尊重し、また、地元の見解はもとより、商工会議所、観光協会、有福支部など、広く意見を聞き、再生とまちづくりについて検討したい。



問 県内、市内の心疾患による死亡状況、及びAEDでの使用時の事故事例は。

平成19年度に県内では1343人、本市では67人が亡くなっている。心疾患の分類では心不全が一番多く、慢性リウマチ性心疾患



藤田 厚

## 福祉環境

### AEDの設置を

市長 / 早急に整備する



早急に整備が求められるAED

急性心筋梗塞などである。事故事例については、消防署に照会したところ、把握していないとのこと。3年間でAED使用は4件。

問 県内、市内での設置状況、啓発活動は。

平成22年5月末で、県内は1062施設158台、本市は42施設54台。啓発活動は、消防署を主体に救命講習会やAEDの効果や

使い方の講習が行われている。

問 各公民館へのAED設置を。

AEDの寄贈を受けて公民館3館に配置している。指摘のように早急に整備する。



問 今後、地方交付税の減少が見込まれる中、市政全般での新たな計画は。

平成17年度～21年度までの行財政改革で16億8千万円の効果が出た。合併10年経過後の交付税減額と人口減少から、今後の財政運営は極めて厳しい見通しである。本年度は中堅職員による約200事業の検証をしている。今後の計画は準備中である。

問 教育分野で財政健全化の帳尻合わせをしている様に感じる。老朽化が著しい小学校が

問 今後、地方交付税の減少が見込まれる中、市政全般での新たな計画は。



山根 兼三郎

## 教育環境

### 新たな小学校建設を

教育長 / 再編計画策定中

多くあり、また少人数学校に対応できていないにもかかわらず統合が進められている。新たな小学校の建設を、決して帳尻合わせ



小学校校舎の雨漏りの状況

はしていない。将来ノベル賞受賞者が本市から出るようならばいい人材の育成をしていきたい。平成24年度までに学校施設すべての耐震診断の結果を踏まえた改修か改築かの判断をする。また、将来的な市全体の統合再編を視野に第2次学校再編計画を策定中である。



問 雇用対策の視点から、地場産業の現状・人材育成・販売促進活動は。

現状は、合併以降市内従業員数は338人減少し、製造品出荷額は39億円の増。人材育成については、物づくり分野の人材育成・確保事業、産業支援人



藤間 義明

産業振興

地場産業の現状は

市長 / 出荷額は増



山積された廃瓦リサイクル材

材育成事業とも大変好評。販売促進活動は、地域資源販路開拓事業を地場産業振興センターに委託し実施している。

問 窯業について、特に廃瓦のリサイクル及び原料（粘土）の枯渇についての考えは。

廃瓦のリサイクル

は、21年4月1日付で県から公共工事における再生資源等の使用に関する特記仕様書が示され、公共工事に対し積極的な使用に努める。原料の枯渇については、公共工事で発生する残土中の粘土が利用できるか、工事仕様書の内容を検討する。

問 江津駅前地区再生整備基本計画について、市民の合意形成と、過疎対策としての効果は。また、経済効果による雇用と所得への影響は。

市民の合意はこれから形成する。交流人口増加の波及効果で、定住人口増加を期待する。現状では経済効果は計れない。

問 連合自治会長協議会からも要求されているが、市民の安全を守るため、防犯灯電気料金の2分の1助成の継続を。

本市は県内の市町村の中で、一番手厚い



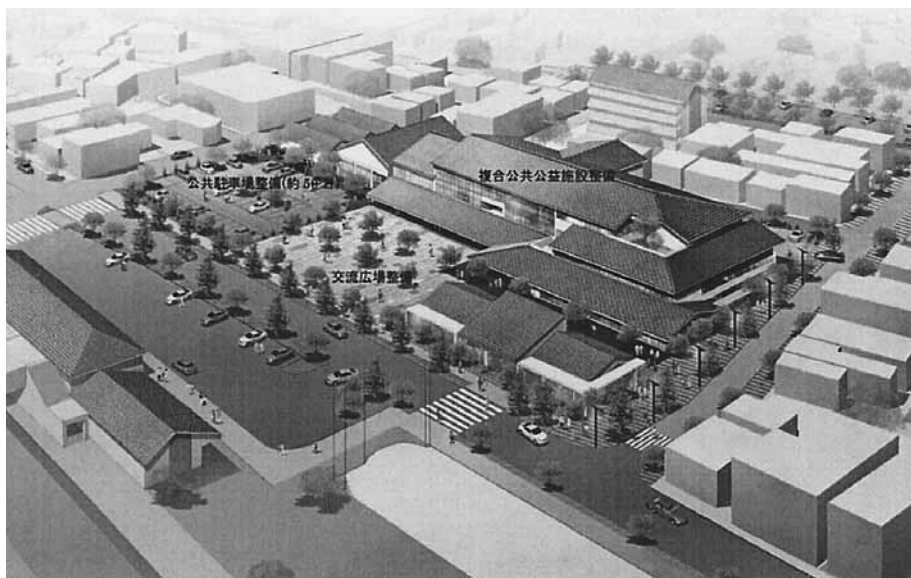
多田 伸治

駅前再生

駅前再開発の効果は

市長 / 効果は計れない

取り組みを行なっており、自治会に努力をお願いした。



江津駅前拠点整備地区の整備イメージ案

問 消防署の夜勤体制は7名で、一度の出動で出払ってしまう。人員不足となっているので、消防職員の増員を。消防は邑智郡と共同での運営なので、本単独では対応できない。

# 全国市議会議長会 研究フォーラム参加報告

10月20日・21日の2日間に向け、大分県大分市で開催された「第5回全国市議会議長会研究フォーラム」に16名の議員全員が参加しました。このフォーラムは全国の市議会議員（今回は約2千5百人）

が一堂に会し、さらなる議会の機能強化を目指す、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めるために開催されました。



## <フォーラム内容>

### 基調講演

「衆議院議員を辞めて  
昨今思うこと」  
前衆議院議長  
河野 洋平 氏

パネルディスカッション  
地方議会のあり方  
- 定数・報酬は  
どうあるべきか -

意見交換  
課題討議  
政治倫理条例について  
議会の調査権について

### 〔意見・感想〕

課題討議についてはその過程でどのような論議があつたかを聞かせてほしかった。

（多田伸治）

ポイントは住民主体ということであり、木を見て森を見ないことのないようにしたい。

（横田省吾）

自身の議員活動について、「情報発信」「住民との対話」を大事にすべきと思った。

（藤間義明）

これまで以上に「議会での議論の様子」の公開、「基本計画や指定管理者を市民参加で決める」ことをしていくべき。（山根兼二郎）

議会改革に対する認識が深まった。議会基本条例は議員の共通認識の下、じっくり議論を戦わせ制定すべき。

（森脇悦朗）

市民が議員に何を望んでいるか、しっかりと掘り下げていかなければならないと再認識した。

（島田修二）

議会のあるべき姿を追求しながら市民へ情報発信し、二元代表制の良さを出せるよう努力する。

（茅島 昇）

議会基本条例、倫理条例は、委員会内、議員間でしっかり討議検討し、本市にあつた独自のものとし、守られ

る内容でなければならぬ。（石橋孝義）

議会活動において、一番の難問である議会と住民とのギャップは、住民も巻き込んだ議論の中で解決し、議会改革がなされるべき。（益子原民生）

「法はそれぞれの胸のうちにある」の言葉のとおり、一人ひとりが真剣に取り組む必要を一層感じた。（河野正行）

住民投票条例案、基本条例案を早急に市民に示し、意見交換の場を持ち、小中学生の傍聴や議会報告をして、議会活動を理解してもらうことが重要。（藤田 厚）

公費を使ってこのフォーラムに参加する目的を今一度噛みしめ、そろそろ実践すべきではないだろうか。（土井正人）

二元代表制の中で議会および議員は、常に政策立案能力の向上、

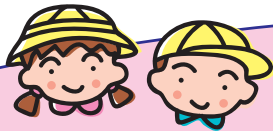
監視機能の強化、開かれた議会づくりを念頭に研さんに努め、市民に密着した活動を展開すべきと感じた。（田中直文）

地方議会のあり方について多くの課題を突き付けられている中、制度の変更だけでなく、本来の議会のあり方を根本から精査し、住民の代表としての議会・議員となるべき。（山本 誉）

市議会の存在意義が問われている。自己の「議員」という身分を守るだけでなく、本市の未来を切り開くために「本当に必要な議会」の役割を生み出す時が来ている。（永岡静馬）

本市の目指している議会改革の問題点を示唆した研修であり、改革特別委員会では、議員・市民に情報公開し、独自の基本条例を取りまとめてほしい。（福原昭平）





# 児童が市議会を傍聴

トピックス



開かれた議会を目指す本市議会が市内の小学校に一般質問の傍聴を呼び掛けたところ、松平小、江津東小、高角小の児童が傍聴し、地方議会の役割について学びました。その時の感想文が寄せられましたので一部を紹介します。

高角小学校6年 瀬戸 恵賜(せとけいし)

僕は、今日初めて市議会の会場に入りました。意外に議会が始まる前は、皆さん明るくて、しゃべったり笑ったりしているのには、びっくりしました。僕の勝手な想像だけど、少し雰囲気的に暗いイメージがあったのですが違いました。議会の最初の方は、僕たちに分かりやすいように身近な事や分かりやすい言葉で論争していたけど、段々「サマーレビュ」や「しゃし」などの分からない言葉も出て来て、論争が段々すごく難しい話になっていったので、ついていけなくなりました。僕が一番驚いたのは、50分で議会が終わるのかと思ったら、一人の質問の時間だと知った時は「えっ、一人で何質問するの?ちゃんと聞いたり、準備しないと、話す事がなくなっちゃうよ」と思いました。だけど、江津を良くしよう頑張っている人だと思えます。議会の話を聞いていたら一人の質問だけでも多かったので、江津を良くするためには、一筋縄ではいかならないと思います。将来の江津市は僕らが背負いたいです。

高角小学校6年 福田 瑠奈(ふくだるな)

初めに分かったのは50分間の話し合いが行われるということです。結構50分って長いなあと思ったりしました。残り3分になると「チン」と音が鳴るんです。この音を聞いた時、どうしたんだろう?どんな合図だろ?など、不思議に思いました。話し合いは、36人以上でした。議員の人達は、子ども達の目線になって考えるなど、教室が少ない、子どもが少ない、建設を考えなくてはならないなど、無駄は徹底的に省き、必要な所は手を入れていくことや、江津全体に迷惑を掛けたいけない等言っていて、すごくその気持ち伝わってきました。1人が言ったら、続いてどんどん言っていくので、よく間があかないなと思いました。

江津東小学校6年 中津 安里(なかつあんり)

がん対策の話では、がん検診をしてくれる人が、もっと増えるように無料のクーポンの配布や土、日、夕方の検診など、江津市の人々のためにたくさん工夫をしておられるんだなと思いました。自分たちのすごく身近なサンピコ江津についても、売りに来る農家の方が増えたことや、売り上げも予想以上に伸びていることなど、とても多くのことを調べ、意見をもっておられてびっくりしました。議員のみなさんは、一つのことについて、とてもよく考え、自分の意見をはっきりと主張しておられました。

## お知らせ

次回定例会日程  
2月28日(月)から  
3月18日(金)までの  
予定です。

請願・陳情の  
受付について

請願書及び陳情書の  
受付は、本会議初日の  
8日前の午前中まで  
です。

〔例〕

3月定例会で、本会  
議初日が2月28日の場  
合、2月20日の午前中  
まで(ただし、19、  
20日が休日のため18日  
午後5時まで)となり  
ます。

それを過ぎますと、  
次定例会(6月定例会)  
に付託・審議されるこ  
とになります。

## 募 集 中

市議会では、市民の  
皆様のご意見等を待  
ちしています。

## 編 集 後 記

昨年の12月議会に松平、江津東、高角の各小学校から児童と先生が一般質問の傍聴に来られました。新聞にも掲載されましたので、ご存知の皆さんも多いことと思います。

先日、児童から傍聴の感想文が寄せられ、読ませて頂きました。議会に対する思いや児童の観察力のすばらしさを感じたところです。

近い将来、傍聴した多くの児童が、江津市を担う市長や議員になるという志を持ってくれることに期待しています。(河野正行)

編集・発行責任者

議長 土井 正人

議会広報・  
情報公開対策  
特別委員会

- 委員長 森脇 悦朗
- 副委員長 島田 修二
- 委員 多田 伸治
- 委員 横田 省吾
- 委員 藤田 厚
- 委員 河野 正行